



るりるりボランティア記

第1号

サワディーカー！昨年末まで JICA 関西業務第一課で勤務していました常瑠里子です。青年海外協力隊（以下 JOCV）に参加するため、1月から JICA を休職して、福島県二本松市にある JICA 二本松訓練所にて JOCV 派遣前訓練を 70 日間受け、晴れて青年海外協力隊員となりました。そして、羽田空港から飛行機に乗ること約 6 時間、私が降り立った地とは？ スワンプーム国際空港！これから 2 年間、私はここタイの首都バンコクで JOCV の隊員として活動します。この連載「るりるりボランティア記」では、私の JOCV の活動の様子やタイで体験したことなどを月に一度レポートさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひします。

～私はだあれ？～

さて、今回は初回ということで、少しだけ自己紹介をさせていただきます。名前は常瑠里子（ツネ ルリコ）。友人からは「るりちゃん」や「るりるり」と呼ばれています。2 歳半の時に麻疹が原因で失明し、視力は光を感じる程度の視覚障害者（全盲）です。

2010 年に JICA に入構し、JICA 関西では開発途上国の主に行政官を対象に実施されている研修員受け入れ事業に関する業務をしていました。JICA に勤めて 2、3 年目の頃、ラオスやベトナムの研修員から「あなたのように仕事をしている障害者を自分の国では見かけないので、ぜひ開発途上国に来て障害者のために仕事をして欲しい」と言われたことをきっかけに、JOCV に参加しようと考えようになりました。

今回多くの方々のご協力のおかげで、バンコクで活動することになりました。私をサポートくださっている関係者に関しては追ってご紹介しようと思っていますので楽しみに。



JICA 二本松での訓練中に作った雪だるま

JOCV 派遣前訓練とは

JOCV の隊員として開発途上国に派遣されるには、70 日間の JOCV 派遣前訓練を修了する必要があります。現地で活動をスムーズに進められるよう、様々なカリキュラムが訓練に組み込まれています。中でも最も比重が高いのが語学訓練。英語やフランス語・アラビア語・モンゴル語など、派遣予定国の母語を少人数に分かれて学びます。私も 1 日 5 時間程度タイ語の授業に参加していました。JOCV の場合、語学の総学習時間数は 200 時間程度。それにプラスして 1 日 2 時間ほど自習をしていました。その他にも開発途上国で活動するために必要な技術や生活するために必要な技術を学ぶ講座も多く受講しました。

訓練は月曜日から土曜日までびっしり。厳しい訓練を受ける中で、同期隊員との信頼は深まり、共に任地で頑張ろうとモチベーションが上がります。



屋台で買ったタイ料理

～現在のタイ語力～

派遣前訓練を受けていた頃、私の一番の不安は 70 日間でどれくらいタイ語が話せるようになるかということでした。バンコクに到着して 1 週間ほどになります。最初の 1 か月はオリエンテーションと語学学校に行くという生活のため、旅行者とあまり変わりません。とはいいつつも、屋台でメニューの値段を聞いたり買い物で値段交渉をしたりする程度であればタイ語で何とかできるというレベル。片言のタイ語を駆使しながら、一緒に赴任した 7 人の同期と一緒にタイ生活を楽しんでいます。

次号もお楽しみに！